

高知県感染症発生動向調査（月報）

2024年11月

高知県感染症情報センター
高知県衛生環境研究所
TEL:088-821-4961 FAX:088-821-4696

全国情報

第45週(11月4日～)から第48週(～12月1日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における上位6疾患の合計は65.05で10月の4週換算値74.20と比べて減少した。減少の主因は手足口病の減少である。上位6疾患の合計は、4月～7月は過去10年間で最多であり、8～10月は2023年に次いで2番目に多かったが、11月は平年並みとなった。厚生労働省は11月8日に全国がインフルエンザの流行期に入ったことを発表した。

新型コロナウイルス感染症について、全国と高知県の定点報告数を図1に示す。2023年8月、2024年2月をそれぞれピークとする第9、第10波に続いて、7～8月をピークとする第11波が到来した。

1位は手足口病で16.03（10月1位4週間換算値が35.62）と減少した。2位は感染性胃腸炎で12.56（同2位10.42）、3位はインフルエンザで10.16（同6位3.44）、4位はマイコプラズマ肺炎で10.11（同3位8.68）、5位はA群溶血性レンサ球菌で8.59（同4位7.58）といずれも10月よりも増加した。6位は新型コロナウイルス感染症で7.60（同5位8.46）と減少した。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	週	45週	46週	47週	48週	計							
1	手	足	口	病	5.74	4.17	3.37	2.75	16.03					
2	感	染	性	胃	腸	炎	2.45	3.18	3.08	3.85	12.56			
3	イ	ン	フ	ル	エ	ン	ザ	1.06	1.88	2.36	4.86	10.16		
4	マ	イ	コ	プ	ラ	ズ	マ	肺	炎	2.43	2.84	2.57	2.27	10.11
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.68	2.29	2.04	2.58	8.59								
6	新型コロナウイルス感染症	1.47	1.90	1.81	2.42	7.60								

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

上位6疾患の県内における報告数の合計は56.80で10月の4週換算値63.06と比べて横ばいで、全国よりも少なかった（表2）。11月の上位6疾患（表2）は次のとおりである。

1位は手足口病で22.64（10月1位4週換算値30.30）と減少したが全国よりも多かった。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で10.44（同4位7.46）と増加し全国よりも多かった。3位はマイコプラズマ肺炎で 7.63（同3位8.22）、4位は感染性胃腸炎で6.84（同5位6.59）といずれも横ばいで全国よりも少なかった。5位は新型コロナウイルス感染症で5.43（同2位8.60）と減少し全国よりも少なかった。6位はインフルエンザで 3.82（同10位0.75）と増加したが全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	45週	46週	47週	48週	計		
1	手	足	口	病	8.04	5.84	4.88	3.88	22.64
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1.60	3.16	2.32	3.36	10.44	
3	マイコプラズマ肺炎			1.88	2.00	1.75	2.00	7.63	
4	感染性胃腸炎			1.48	1.92	1.52	1.92	6.84	
5	新型コロナウイルス感染症			1.23	1.36	1.20	1.64	5.43	
6	インフルエンザ			0.14	0.52	0.80	2.36	3.82	

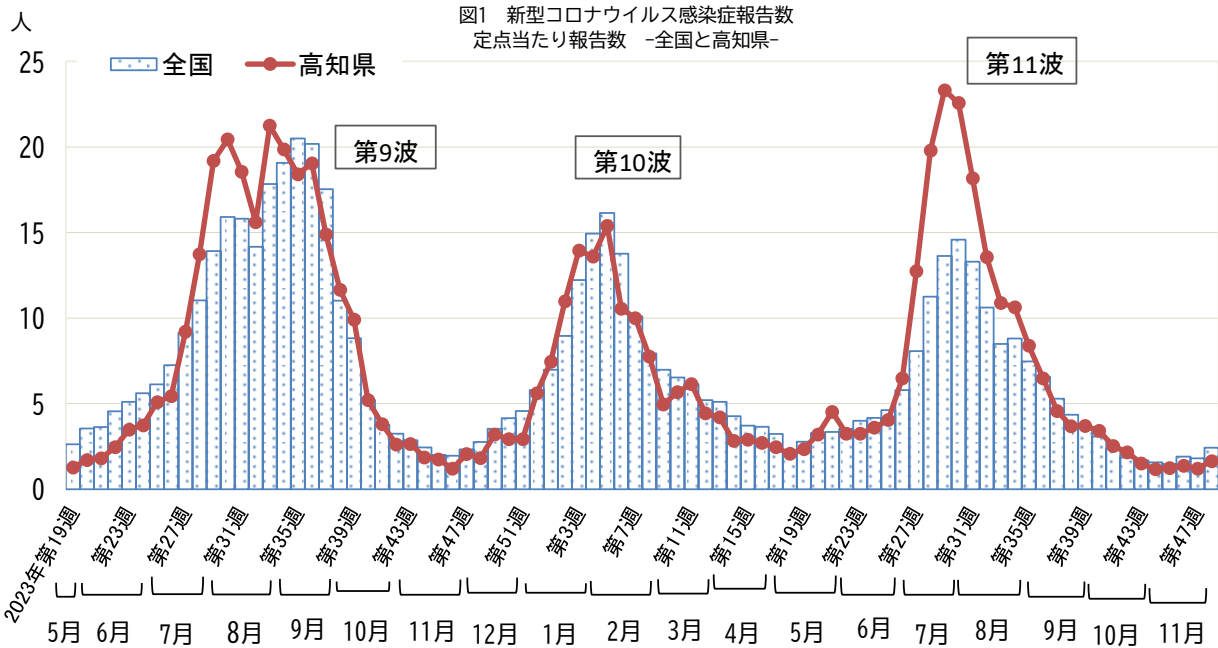


表3 高知県で検出された新型コロナウイルスの変異株
オミクロン株

		オミクロン株																																BA. 5系統群					
		BA. 2系統群																BA. 2系統群																					
年 月	BA. 2系統	BA. 2.86系統										BA. 2.75系統			XBB系統																				XBC系統	XDQ系統	CX系統		
		KP. 2	KP. 3	KP. 3. 1	KP. 3. 3	KP. 3. 3. 1	KP. 3. 3. 3	JN. 1	JN. 1. 16	MC. 11	BN. 1	FK. 1	計	EG. 1	EG. 5	EU. 1	FE. 1	FL. 1	FL. 1 0	FL. 3	FL. 4	FY. 2	FY. 3	FY. 5	FY. 6	GE. 1	GJ. 1	GK. 1	HF. 1	HH. 1	HK. 3	HV. 1	XBB. 1	XBB. 2	計	HW. 1		XDQ. 1	CK. 1
2023	5									1		1																					2		2				
	6											0	1				1			1													4	1	7				
	7											0			1					1													4	1	7				
	8										6	6	1	11				2				1	1		1	1		1	3	1			9		32			1	
	9										5	5	1	12	2	1					1			1				1	2	1			1	2		25	3		
	10	1										1		5				1										1	2				1	2		9			
	11	6										6	1	1																						2			
	12	12						1				13																					1		1				
2024	1	25						2				27		2																		5		2		9			
	2	37										37		2														1				1				4			
	3	11						1				12																						1			1		
	4	2										2																							0			6	
	5		1		2							3																							0			5	
	6			1	6		3		1			11																							0				
	7	2		6	30		16		1			55																							0				
	8			2	33		13					48																							0				
	9				7	1	2			1		11																							0				
	10					6	1					7																							0				
	11											0																							0				

2. 全体の傾向

麻疹、風しんの報告無し。

厚生労働省HPに、2023年7月7日に掲載された“Disease outbreak news”に「エンテロウイルス・エコーウイルス11型感染症-ヨーロッパ地域」と題した記述がある (https://www.forth.go.jp/topics/2023/202300707_00001.html)。これによれば、フランス、クロアチア、イタリア、スペイン、スウェーデン、英国において新生児のエコーウイルス11型の確定感染例が報告された。このウイルスは肝障害と多臓器不全を伴う新生児敗血症を起こし、死亡する例も少なくないことから、世界保健機関（WHO）は各国に対し、症例の監視と報告を奨励している。

そして、本年12月1日付で日本小児科学会から「新生児におけるエコーウイルス11による重症感染症に関する注意喚起」が発出された (<https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20241202echovirus.pdf>)。これを受けて、12月3日には、厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課から日本医師会に対して「新生児におけるエコーウイルス11型（E-11）感染症の発生について（注意喚起及び情報提供依頼）」 (<https://www.mhlw.go.jp/content/001345107.pdf>) が発出されている。

エコーウイルス11型は、県下でも検出されている。7月に感染性胃腸炎の患者から1件、9月は同じく胃腸炎の患者から2件が、10月には気管支炎・肝障害を呈した1歳児の糞便（県内医療機関で10月18日に採取）から1件が検出されている。今後、エコーウイルス11型の感染動向が注目される。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 168名(10月 41名)。2023/24シーズンは9月に始まった流行が長く続き、3つのウイルス株(AH3NT、AH1pdm09、B/Victoria)が相次いで流行した。2023年9月～2024年5月に23,022名が定点から報告され、過去10年間で最大の流行となった。ようやく終息するかに見えたが7月70名、8月51名、9月46名、10月は41名と流行は終息しないままに11月は168名と増加に転じた。県下全域から報告され、なかでも須崎が突出して多く、中央西、高知市、中央東と続いている。

厚生労働省は11月8日に全国でインフルエンザの流行期に入ったと発表した。都道府県別の上位は福岡(22.67)、沖縄(21.53)、千葉(17.28)である。高知県は3.82で富山県(2.84)について2番目に少なかった。ウイルスは9月にAH3NTが3件検出されたが、10月～11月はAH1pdm09が2件～5件検出され、AH1pdm09が主たる流行株になりそうである。

2) 新型コロナウイルス感染症

報告数 239名(10月 473名)。図1に2023年5月以降の県下定点報告数を示す。全国の定点報告数と概ね一致しているが、第11波は高知県において全国よりも大きな流行になった。

県下全域から報告があり、幡多、中央西、高知市、中央東、安芸、須崎の順に多かった。県下で採取されたウイルス株の解析結果を表3に示す。2023年8月以降はすべてオミクロン株のBA.2系統群に分類されるウイルスである。9～10月の2カ月は、BA.2.86系統のKP.3.3とKP.3.3.1がともに7件、KP.3.3.3が3件、MC.11が1件検出されている。

3) 咽頭結膜熱

報告数 25名(10月 8名)。2023年の年間報告数は合計980名で、過去10年で最多であった。2023年10月～2024年3月は、同時期として過去10年間で最多の報告数が続いたが、5月以降は例年ペースに落ち着いている。須崎、高知市、中央東、幡多から表記の順に多く報告された。その他と診断された患者からAdenovirus 2型が1件検出されている。

4) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 261名(10月 233名)。2023年10月以降は、多い報告数が続いている。県下全域から報告があり、中央西、須崎、高知市でとくに多かった。細菌は検出されていない。劇症型溶血性レンサ球菌感染症も多発しており、第46週までに全国から計1,723名が報告され、最多を更新している。高知県でも6名が報告されている。

5) 感染性胃腸炎

報告数 171名(10月 206名)。新型コロナウイルス感染症流行が始まった2020年以降は少ない数字で推移している。県下全域から報告があり、安芸＝須崎、高知市がとくに多かった。その他と診断された患者から*Escherichia coli* OUT afaDが1件検出された。

6) 水痘

報告数 16名(10月 10名)。ワクチン定期化の効果で少ない数で推移しているがゼロにはならない。中央東から8名、高知市から7名、中央西から1名が報告された。

7) 手足口病

報告数 566名(10月 947名)。4月に流行が始まり、6月と10月にピークをつくり二相性流行となった。複数のウイルスが流行したので、過去10年間で最も大きい流行規模となった。県下全域から報告があり、安芸以外では同程度に多い報告数だった。Coxsackievirus A16が8月以降に32件検出された。今季の主たる流行株は4月～7月に流行したCoxsackievirus A6と、8月以降に流行した同A16と同A10の3種類である。11月にはCoxsackievirus A16が4件、同A6が1件検出された。

臨床診断名「手足口病」の検体から、Enterovirus D68が9月、10月に各1件検出されている。このウイルスは喘鳴や呼吸不全に加えて急性弛緩性麻痺(Acute Flaccid Paralysis, AFP)を起こすことで知られ、県外でも流行の兆しが伝えられている。AFPは全数報告の疾患であり、その動向を注視する必要がある。

8) 伝染性紅斑

報告数 24名(10月 10名)。高知市から22名、中央東から2名が報告された。2020年9月以降は一桁の報告数が続いていたが、10月以降に増加した。原因ウイルスのHuman parvovirus B19は、県下で4月に2件(臨床診断名：その他)、5月、7月と9月に各1件、10月に2件、11月に1件(臨床診断名はいずれも手足口病)が検出さ

れており、これは4年ぶりの同ウイルス検出であった。報告が多い都道府県は、埼玉（8.39）、東京（7.84）、神奈川（5.97）と 関東での流行が顕著である。妊婦が伝染性紅斑に罹患すると、胎児水腫、流産の原因となる点は臨床的に重要である。

9) 突発性発疹

報告数 32名（10月 35名）。想定内の推移である。

10) ヘルパンギーナ

報告数 12名（10月 34名）。2022年は8月から流行が始まり過去10年間で最小、翌2023年は過去10年で最大の流行となった。2024年は5月から流行が始まり6月がピークで、標準的な規模となった。中央西・須崎以外から報告があった。今季は同診断の者からエンテロウイルスが検出されておらず原因ウイルスは不明のままである。

11) 流行性耳下腺炎

報告数 1名（10月 2名）。2019年以降は一桁の報告数で推移している。

12) RSウイルス感染症

報告数 24名（10月 59名）。2021年は過去10年で最大の流行だったが、2024年は2021年、2017年に次ぐ3番目の流行となった。2022年は7月に流行が始まり10月がピーク、2023年と2024年は8月がピークで、4年連続で夏の流行となった。中央東、須崎、幡多、高知市から表記の順に多く報告された。

13) 流行性角結膜炎

報告数 4名（10月 5名）。2019年以降は一桁の報告数で推移している。

14) 細菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（10月 0名）。2017年以降は年間一桁の報告数で推移していたが、2024年はすでに10人に達している。

15) 無菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（10月 1名）。従来は年間20～30名台の報告数で推移していたが、2017年以降は1～7名/年で推移している。

16) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 61名（10月 82名）。増加傾向にあったが、11月はじめて減少に転じた。過去10年間では2016年、2015年に次いで3番目に大きな流行となった。幡多、高知市、中央東から表記の順に多く報告された。流行株のマクロライド感受性についてまだ情報がない。

基幹定点の月報疾患

17) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 26名（10月 32名）。想定内の推移である。中央東、高知市、幡多から表記の順に多く報告された。

18) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名（10月 0名）。2015年以降は、年間0～2名の報告にとどまっている。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

【参考】

全数報告

年別全数報告数（令和6年11月）

類型	病名																総計
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
2	結核	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	1620
	計	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	1620
3	コレラ	1															1
	細菌性赤痢								2								2
	腸管出血性大腸菌感染症	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3	7	5	98
	腸チフス						1				1						2
	パラチフス																0
	計	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3	7	5	103
4	A型肝炎	3					3	1			2					1	10
	E型肝炎	1		1							2	1		1			6
	オウム病								1								1
	Q熱																0
	サル痘														1		1
	重症熱性血小板減少症候群				3	11	3	7	5	5	9	6	4	8	10	10	81
	つつが虫病	2	5	8	3	3		4	11	2	3	3	1	5	11	3	64
	デング熱	1			3	2	1			2	2						9
	日本紅斑熱	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12	16	9	156
	日本脳炎	1															1
	マラリア		1								1				1	1	4
	レジオネラ症	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8	7	8	92
	レプトスピラ症		4	2	1				1						1		9
	計	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	47	32	434
5	アメーバ赤痢	2	2	3		7	3	2	5	3	3		1	5	1	1	38
	ウイルス性肝炎	3		3		1			2	1	1	2	2	2	1		18
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					7	19	21	22	21	20	10	5	12	9	11	157
	急性弛緩性麻痺									1	2				1	2	6
	急性脳炎	1	3	1		1	1	1	1		2	1	1	2			15
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3				2			2	1	1	3		1	1		14
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	3		1		3	5	6	2	2	5	4	1	6	39
	後天性免疫不全症候群	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	6		6	2	4	66
	ジアルジア症		1	1						1							3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	5	3	4	7	3	1	1	3	7	9	44
	侵襲性肺炎球菌感染症				1	4	12	16	18	14	22	11	9	6	12	18	143
	水痘（入院例に限る）						2	1	1	3		3	3	3	1		17
	髄膜炎菌性髄膜炎																0
	梅毒	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	62	40	397
	播種性クリプトコックス症							1	3	5				4	3	1	17
	破傷風	1	1	1		4	3	3	1		2	3	1	3	1	1	25
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						1		1		1						3
百日咳										173	172	35	3	9	7	403	
風しん			4	9	1				3							17	
麻疹																0	
	計	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	112	127	111	109	97	1422
動物	鳥インフルエンザ		1														1
	計		1														1
総計		201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	214	221	221	216	196	3580

類型	病名	報告月											総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
2	結核	3	6	7	3	5	5	7	3	2	14	7	62
3	腸管出血性大腸菌感染症					1			3		1		5
4	A型肝炎				1								1
	重症熱性血小板減少症候群			1	1	4		1		1	1	1	10
	つつが虫病	1										2	3
	日本紅斑熱					2	2	1	2		1	1	9
	マラリア					1							1
	レジオネラ症			1			1	1	2		2	1	8
5	アメーバ赤痢								1				1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	1			2		2	2	2		11
	急性弛緩性麻痺							1	1				2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1	1				1	1	1		6
	後天性免疫不全症候群			1					2	1			4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			1	1	2	2		2			1	9
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1	3	1	3	1	2			2	1	18
	梅毒	4	2	3	2	2	5	4	5	7	1	5	40
	播種性クリプトコックス症									1			1
総計	破傷風										1		1
	百日咳						1		2		1		4
総計		14	13	18	10	20	17	17	26	15	27	19	196

高知県感染症情報 月報（61定点医療機関）

2024年

11月

定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
内科・COVID-19	インフルエンザ		3	17	37	24	80	7	168	41	5,339
	新型コロナウイルス感染症		11	37	76	26	9	80	239	473	381
小児科	咽頭結膜熱			4	16		4	1	25	8	316
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7	37	109	39	37	32	261	233	504
	感染性胃腸炎		23	29	75	2	23	19	171	206	300
	水痘			8	7	1			16	10	26
	手足口病		21	122	231	41	55	96	566	947	68
	伝染性紅斑			2	22				24	10	1
	突発性発疹		2	4	20	1	4	1	32	35	29
	ヘルパンギーナ		1	5	5			1	12	34	36
	流行性耳下腺炎			1					1	2	2
	RSウイルス感染症			14	5		2	3	24	59	3
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎				3			1	4	5	7
STD	性器クラミジア感染症			2	7				9	7	4
	性器ヘルペスウイルス感染症									1	
	尖圭コンジローマ							1	1	2	1
	淋菌感染症				1			1	2	1	1
基幹	細菌性髄膜炎										2
	無菌性髄膜炎									1	
	マイコプラズマ肺炎			3	20			38	61	82	3
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）									1	
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）										
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			6	19			1	26	32	28
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症										
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
計			68	291	653	134	214	282	1,642	2,190	7,051
前月			88	340	801	234	180	547			
前年同月			392	1,191	2,716	635	530	1,587			
小児科定点数			2	6	9	2	2	4			

高知県感染症情報 月報（61定点医療機関）

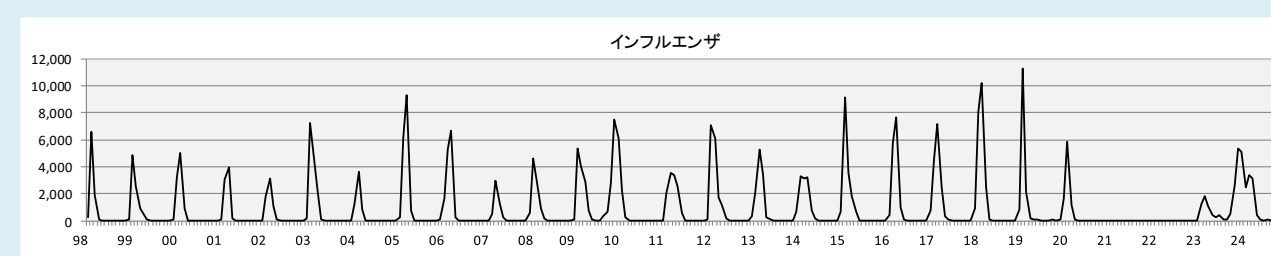
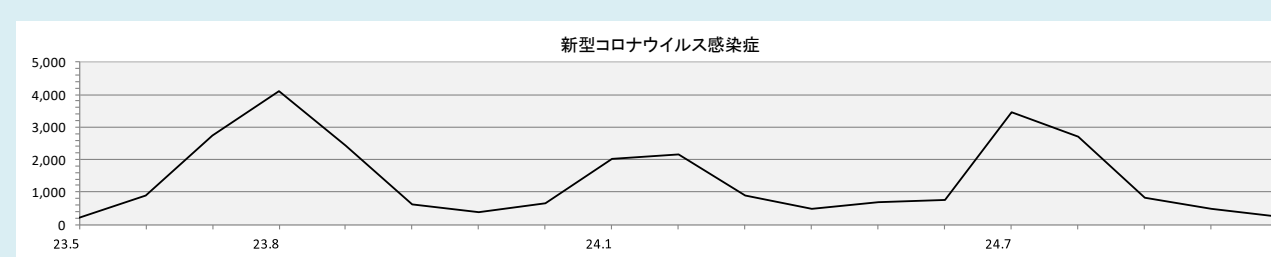
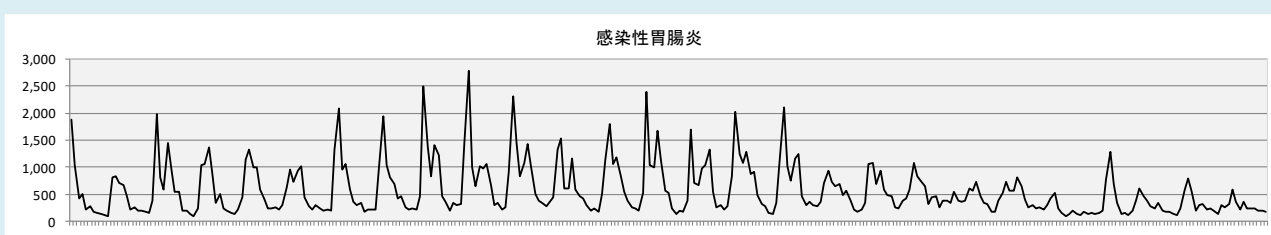
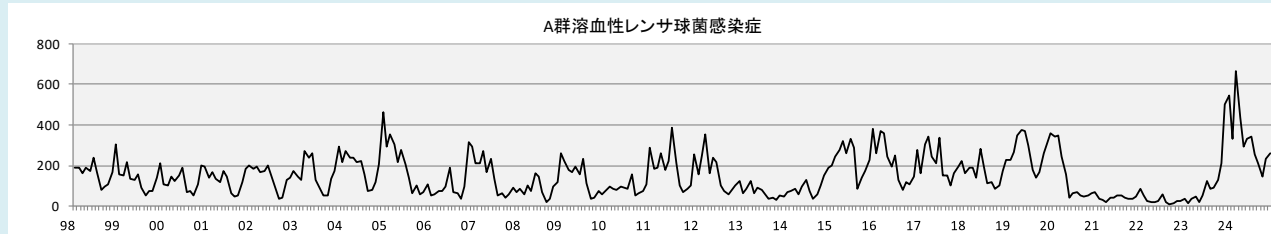
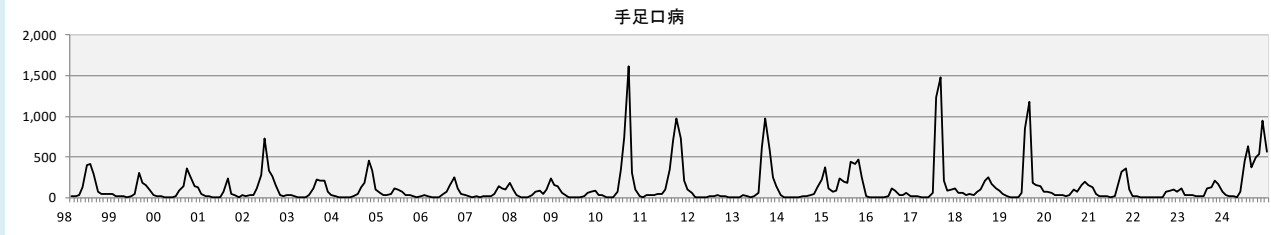
2024年

11月

定点当たりの人数

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
内科・COVID-19	インフルエンザ	0.75	1.70	2.64	6.00	20.00	0.89	3.82	0.94	121.34
	新型コロナウイルス感染症	2.75	3.70	5.43	6.50	2.25	10.01	5.43	10.75	8.66
小児科	咽頭結膜熱		0.67	1.78		2.00	0.25	1.00	0.32	12.15
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.50	6.16	12.11	19.50	18.50	8.00	10.44	9.32	19.39
	感染性胃腸炎	11.50	4.84	8.32	1.00	11.50	4.75	6.84	8.24	11.53
	水痘		1.33	0.78	0.50			0.64	0.40	1.01
	手足口病	10.50	20.33	25.67	20.50	27.50	24.00	22.64	37.88	2.62
	伝染性紅斑		0.33	2.45				0.96	0.40	0.04
	突発性発疹	1.00	0.67	2.23	0.50	2.00	0.25	1.28	1.40	1.11
	ヘルパンギーナ	0.50	0.83	0.55			0.25	0.48	1.36	1.38
	流行性耳下腺炎		0.17					0.04	0.08	0.08
	RSウイルス感染症		2.33	0.55		1.00	0.75	0.96	2.36	0.12
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			3.00			1.00	1.33	1.67	2.34
STD	性器クラミジア感染症		1.00	3.50				1.50	1.17	0.67
	性器ヘルペスウイルス感染症								0.17	
	尖圭コンジローマ						0.50	0.17	0.33	0.17
	淋菌感染症			0.50			0.50	0.33	0.17	0.17
基幹	細菌性髄膜炎									0.26
	無菌性髄膜炎								0.13	
	マイコプラズマ肺炎		3.00	4.00			38.00	7.63	10.27	0.39
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）								0.13	
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）									
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		6.00	3.80			1.00	3.25	4.00	3.50
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		30.50	43.06	62.51	54.50	84.75	49.15	54.53	73.45	179.43
前月		39.00	49.63	77.35	93.25	80.25	101.91			
前年同月		113.50	132.16	220.29	166.25	159.00	209.63			

注目される疾患の月別推移



高知県感染症情報（月報）
2024年11月

検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

令和6年11月はウイルス51件、細菌2件の搬入があり、そのうち ウイルス31件、細菌1件の病原体を検出し、9月に搬入された検体からウイルス1件、10月に搬入された検体からウイルスが27件検出された。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus2 1件、Coxsackievirus A6 1件、Coxsackievirus A16 7件、Enterovirus71 1件、Human herpes virus 7 3件、human parvovirus B19 1件、Influenza virus A H1pdm09 5件、Rhinovirus 22件、Rhinovirus C 3件、SARS-CoV-2 15件、細菌の内訳は*Escherichia coli* OUT afaD 1件であった。

ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	88	男	新型コロナウイルス感染症	—	喀痰	9/16	SARS-CoV-2(解析不能)
2	30	女	新型コロナウイルス感染症	上気道炎,	鼻咽頭ぬぐい	9/17	SARS-CoV-2(BA.2)
3	85	男	新型コロナウイルス感染症	38℃,	唾液	9/17	SARS-CoV-2(BA.2)
4	95	女	新型コロナウイルス感染症	—	唾液	9/26	SARS-CoV-2(解析不能)
5	52	男	新型コロナウイルス感染症	38℃, 肺炎,	唾液	9/29	SARS-CoV-2(BA.2)
6	82	男	新型コロナウイルス感染症	37℃,	鼻咽頭ぬぐい	10/9	SARS-CoV-2(BA.2)
7	73	男	新型コロナウイルス感染症	38℃, 咳嗽,	鼻咽頭ぬぐい	10/9	SARS-CoV-2(BA.2)
8	87	女	新型コロナウイルス感染症	39℃,	鼻咽頭ぬぐい	10/9	SARS-CoV-2(解析不能)
9	45	男	新型コロナウイルス感染症	上気道炎,	鼻咽頭ぬぐい	10/10	SARS-CoV-2(BA.2)
10	32	男	新型コロナウイルス感染症	38℃, 上気道炎,	鼻咽頭ぬぐい	10/11	SARS-CoV-2(解析不能)
11	60	女	新型コロナウイルス感染症	39℃,	鼻咽頭ぬぐい	10/15	SARS-CoV-2(BA.2)
12	54	女	新型コロナウイルス感染症	40℃,	鼻咽頭ぬぐい	10/18	SARS-CoV-2(BA.2)
13	93	女	新型コロナウイルス感染症	39℃, 咳嗽,	鼻咽頭ぬぐい	10/18	SARS-CoV-2(BA.2)
14	97	男	新型コロナウイルス感染症	38℃,	鼻咽頭ぬぐい	10/18	SARS-CoV-2(BA.2)
15	6	男	手足口病	水疱, 口内炎,	ぬぐい液	10/18	Human herpes virus 7
16	79	男	新型コロナウイルス感染症	38℃,	鼻咽頭ぬぐい	10/20	SARS-CoV-2(解析不能)
17	3	男	手足口病	38℃, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	10/23	RhinovirusC
18	1	男	手足口病	37℃, 発疹,	ぬぐい液	10/23	RhinovirusC
19	1	男	手足口病	38℃, 嘔吐, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	10/23	Rhinovirus
20	9	男	EBウイルス疑い	発疹,	ぬぐい液	10/25	Rhinovirus
21	5	女	手足口病	発疹, 口内炎,	ぬぐい液	10/28	Rhinovirus
22	3	女	手足口病	38℃, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	10/28	Rhinovirus
23	2	女	手足口病	38℃, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	10/28	Enterovirus 71 Rhinovirus
24	2	男	手足口病	咳嗽, 発疹,	ぬぐい液	10/28	RhinovirusC
25	1	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	10/28	Coxsackievirus A16 Rhinovirus
26	11か月	男	手足口病	発疹, 口内炎,	ぬぐい液	10/28	Coxsackievirus A16 Rhinovirus
27	1か月	男	手足口病	39℃, 発疹,	ぬぐい液	10/30	Rhinovirus
28	6か月	女	胃腸炎疑い	嘔吐,	ふん便	10/31	<i>Escherichia coli</i> afaD
29	4か月	男	手足口病	40℃, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	10/31	Coxsackievirus A16
30	4か月	男	突発性発しん	40℃, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	10/31	Coxsackievirus A16
31	1	男	手足口病	発疹,	ぬぐい液	11/2	Coxsackievirus A16
32	3か月	男	—	—	ぬぐい液	11/2	Rhinovirus
33	4	女	手足口病	発疹, 口内炎,	ぬぐい液	11/5	Coxsackievirus A16
34	2	男	手足口病	発疹, 口内炎,	ぬぐい液	11/5	Rhinovirus
35	1	男	手足口病	発疹, 口内炎,	ぬぐい液	11/5	Coxsackievirus A16
36	6か月	男	—	嘔吐,	ふん便	11/5	Adenovirus 2
37	4	男	手足口病	発疹, 口内炎,	ぬぐい液	11/8	Human herpes virus 7 Rhinovirus
38	9	男	インフルエンザ	40℃,	ぬぐい液	11/11	Influenza virus A H1pdm09
39	5	男	手足口病	39℃, 発疹,	ぬぐい液	11/11	Human herpes virus 7 Rhinovirus
40	2	男	手足口病	発疹,	ぬぐい液	11/11	Coxsackievirus A6 Rhinovirus
41	2	男	手足口病	39℃, 水疱, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	11/11	Rhinovirus
42	5	女	咽頭結膜熱	嘔吐,	喀痰	11/11	Rhinovirus
43	1	女	手足口病	38℃, 水疱, 発疹, 口内炎,	ぬぐい液	11/12	Rhinovirus
44	6	男	手足口病	発疹,	ぬぐい液	11/13	Rhinovirus
45	1	男	手足口病	発疹,	ぬぐい液	11/15	Rhinovirus
46	15	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	11/16	human parvovirus B19
47	9か月	女	突発性発しん	39℃, 発疹,	ぬぐい液	11/18	Rhinovirus
48	13	女	インフルエンザ	40℃,	ぬぐい液	11/19	Influenza virus A H1pdm09
49	12	女	インフルエンザ	39℃,	ぬぐい液	11/19	Influenza virus A H1pdm09
50	13	男	インフルエンザ	39℃,	ぬぐい液	11/21	Influenza virus A H1pdm09
51	5	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	11/21	Rhinovirus
52	14	女	インフルエンザ	40℃,	ぬぐい液	11/22	Influenza virus A H1pdm09
53	3	女	手足口病	38℃, 発疹,	ぬぐい液	11/25	Rhinovirus
54	1	男	手足口病	40℃,	ぬぐい液	11/25	Rhinovirus

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2024年											2024年 総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
A群溶血性レンサ球菌咽頭	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1			1		3	1						5
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264				1								1
	<i>Streptococcus pyogenes</i> Untypable		1	1									2
	計		1	2	1	3	1						8
咽頭結膜熱	Adenovirus 2					1							1
	Rhinovirus											1	1
	計					1						1	2
インフルエンザ	Adenovirus 1							1					1
	Coxsackievirus A6						1						1
	Influenza virus A H1pdm09	1									2	5	8
	Influenza virus A H3 NT	3	1							3			7
	Influenza virus B/Victoria	3	3	3	7								16
	Parainfluenza virus 3		1										1
	SARS-CoV-2	1	1										2
	計	8	6	3	7		1	1		3	2	5	36
感染性胃腸炎	Echovirus 11							1		2			3
	Norovirus GI NT	1	2	1									4
	Norovirus GII NT	4		2		2	1			2			11
	Rhinovirus							1					1
	Rotavirus group A G2			1									1
	Sapovirus genogroup unknown		1										1
	計	5	3	4		2	1	2		4			21
新型コロナウイルス感染症	SARS-CoV-2	42	45	25	9	9	9	66	16	25	14		260
	計	42	45	25	9	9	9	66	16	25	14		260
手足口病	Adenovirus 1								1				1
	Adenovirus 2							1			3		4
	Adenovirus 5				1								1
	Coxsackievirus A6				6	8	8	6				1	29
	Coxsackievirus A10								2	2			4
	Coxsackievirus A16								9	9	10	4	32
	Cytomegalovirus		1		1	1	2	1		4	1		11
	Echovirus 3								1				1
	EnterovirusD68									1	1		2
	Enterovirus71		1								2		3
	Epstein-Barr virus					2	3	2		2	4		13
	Human herpes virus 6				1	2	1	3		2	1		10
	Human herpes virus 7				1	1	3	2	1	4	8	3	23
	human parvovirus B19					1		1		1	2	1	6
	Rhinovirus								1	8	12	12	33
	RhinovirusA10								1				1
	RhinovirusA20									1			1
	RhinovirusA58								3	2	1		6
	RhinovirusC										5		5
	RhinovirusC2					2	1						3
	RhinovirusC42				1								1
	計		2		11	17	18	16	19	36	50	21	190
伝染性紅斑	Epstein-Barr virus												
	Rhinovirus	1											1
	計	1											1
突発性発疹	Coxsackievirus A16											1	1
	Rhinovirus											1	1
	計											2	2
無菌性髄膜炎	Human herpes virus 6		1										1
	Norovirus GII NT		1										1
	計		2										2
ヘルパンギーナ	Herpes simplex virus 1					1							1
	計					1							1

臨床診断名	病原微生物	2024年											2024年 総計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
その他	Adenovirus 2						1	2				1	4	
	Adenovirus 41									1			1	
	Coxsackievirus A6					2	1						3	
	Coxsackievirus A10								1				1	
	Cytomegalovirus			1	1			1					3	
	Echovirus 11										1		1	
	Enterovirus71	1											1	
	Epstein-Barr virus	1	1	1	3	4					1		11	
	Human herpes virus 6			2	1	3		1		1	1		9	
	Human herpes virus 7		1		2				1	1			5	
	Human metapneumovirus			2									2	
	human parvovirus B19				2								2	
	Influenza virus B/Victoria				1								1	
	Norovirus GII NT				1								1	
	Parainfluenza virus 1				1								1	
	Parainfluenza virus 3					3							3	
	Respiratory syncytial virus A										1		1	
	Rhinovirus			1		3	2	3	1	1	1	1	13	
	RhinovirusA10								1				1	
	RhinovirusA38									1			1	
	RhinovirusA58									1			1	
	RhinovirusA78							1					1	
	<i>Escherichia coli</i> OUT afaD									1			1	2
	<i>Staphylococcus saprophyticus</i>					1								1
	<i>Staphylococcus simulans</i>					1								1
	計		2	2	7	12	17	4	8	5	7	4	3	71
総計		58	61	41	40	50	34	93	40	75	70	32	594	